

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

豊かな教育環境の下で...

校長 川本 朋子

長い夏休みが終わりました。今日から2学期。子どもたちは張り切って学校に登校してきました。久しぶりに会う友達とも会話がはずみます。これから、ちょっぴり長い2学期の始まりです。めあてをしっかりとって、意欲的に過ごしてほしいものです。

ご心配をおかけしていた体育館の工事も、ついに始まります。これから、体育館周辺は姿を変えていきます。無事に工事が進むことを祈るばかりです。校地内への進入口についてもご協力をいただいております。立派な体育館が完成することを心待ちにしながら、不自由に感じる生活でも、工夫していきたいと思っています。

本校の目指す学校像の一つに、「**豊かな教育環境による居心地の良い学校**」があります。見初小学校は、町中にありながらも、樹木や草花、人工の池や藤棚など、自然を感じられる場所がたくさんあります。季節ごとに咲く花は美しく、時期になると虫取り網をもった子どもたちが校庭を駆けずり回り、生き物を捕まえては歓声を上げています。それだけではありません。校舎内では地域の方と触れ合う「コムスクルーム」、多くの蔵書をもつ図書館、心をゆっくり休めたいときに訪れる「ほっとルーム（相談室）」など、特別教室も充実しています。でも、やっぱり子どもたちにとって一番居心地の良い場所は、教室なのでしょう。

こうした場所を気持ちよく利用するには、それぞれの場所に愛着を持ち、心を込めて掃除や整理整頓をする、きれいにしてくれた人に感謝の気持ちを持つことが大事なのだらうと思います。

夏の暑い間、保護者や地域の方々に、花壇の水やりや校地内の草取りなどの環境整備を行っていただきました。児童の中には学校へゴミ袋を取りに来て、ボランティアで校内や周辺のごみ拾いをしてくれた子もいました。教職員も、夏休みの間に体育館の片づけ等を行い、2学期から体育館がなくてもできるだけ不自由しないように整えました。

子どもたちも、2学期からは縦割り班で掃除を行うことになっています。6年生のリーダーを中心に、1年生から6年生までが黙々と掃除に取り組み、美しい見初小学校を創ってほしいものです。そうしていくうちに、心までもが美しくなれるのではないのでしょうか。

「人が環境をつくり

環境が人をつくる」という言葉もあります。私たちが共に生活する見初小学校が、爽やかで清々しく、子どもにとっても教職員や保護者、地域の方々にとっても居心地の良い場所になるように、気を配っていききたいものです。子どもたちが、伸び伸びと学習や遊びに夢中になれるように、日々、整えていきたいと思えます。

はきものをそろえる
はきものをそろえ
心もそろえ
心がそろえ
はきものもそろ
ぬぐときに
そろえておく
はくときに
心がみだれな
だれかが
みだしておいた
だまっておいて
おいてあげよう
そうすればき
世界中の人の心
そろえよう



校内にも掲示している言葉です。